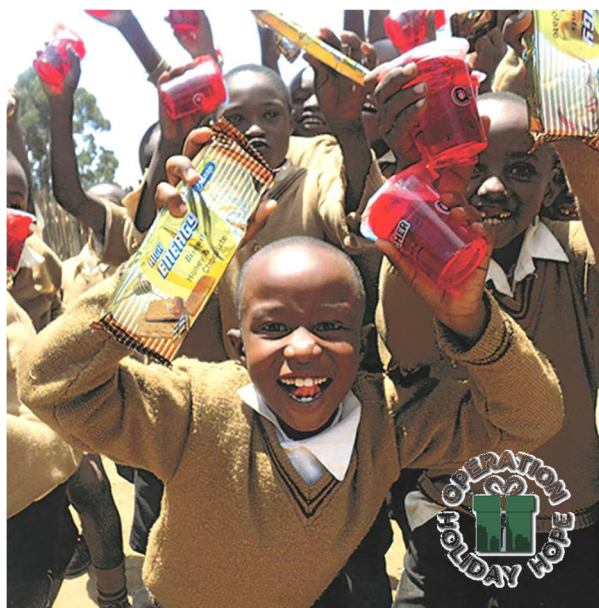


オペレーション・ホリデー・ホープは 大成功でした！



あなたのお陰で、去年は27万5千人の子どもたちが第24回オペレーション・ホリデー・ホープで大きな影響を受けることとなりました。

ジェロームのように、クリスマスプレゼントを受け取ったのが初めてという子もいます。ジェロームの母親は誰からも支援を受けていないので、母親にとっても嬉しい、喜び二倍のプレゼントとなりました。お菓子が詰まった靴下、ラッピングされたプレゼント、特別な贈り物とお祝い用の食事といったプレゼントと共に、子どもたちは歴史上最も偉大なメッセージを聞きました。

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」(ルカの福音書第2章11節)

確実に言えるのは、あなたのような友によるご支援がなければ、私たちには何もできないということです。感謝します！あなたの優しさはまさに恵みで、子どもたちにとって神の愛が目に見える形に表されたものです。

イースターバスケット 2020！

～子どもたちにイースタープレゼントを届けよう～

3月2日〆切！

1口3,000円のご支援で、ニューヨークのメトロ日曜学校に参加する子ども1人にお菓子とおもちゃの詰まったイースターバスケットを送ることができます。

これによって、神様が人間にくださった最高の贈り物であるイエス・キリストの復活を祝い、子どもたちの心は喜びで満たされます。



QRコードからも
お申し込みができます



今月のデボーション！

今月より、WEB限定のデボーションが配信されます。

詳しくは、3ページをご覧ください。

フィリピンツアー開催！

日程は、2020年4月2日(木)～5日(日)です！

今月号の目次

P2…フィリピン給食支援のご案内
／フィリピンツアーご案内

P3…今月のデボーション

P4…ケニアツアーご感想

P5…フィリピンインターンシップ
を終えて

P6…日本事務所からのお知らせ

フィリピン給食支援のご案内

メトロでは、子どもたちに食べ物を配ることは伝道の一環です。キリストの愛を通じて子どもたちの人生に新しい道を拓くため、食べ物と希望と支援を与えるよう示された声に今こそ応える時です。



ご支援方法：「フィリピンの給食支援」として、日本事務所にお申し込みください。

1口：10,000円 おひとり何口でもご支援いただけます。

1口のご支援で、50人の子どもたちに1日分の食事を提供できます。

1回だけでも、継続的にもご支援いただけます。継続的にご支援くださる場合は、口座引き落としをご利用いただけます。

日本事務所

TEL 03-3561-0174

email: metrojapan@mission.or.jp

QRコードからもお申し込みができます→



メトロ・フィリピン視察ツアーご案内

2020年4月2日(木)～5日(日)開催！



お申し込みメ切 3月2日(月)

フィリピンの現地視察ツアーの日程が確定しました。

フィリピンツアーは、他の地域へのツアーに参加するより、日程的にも金額的にも大変参加しやすいと思いますので、ぜひご検討ください。

参加のご意向のある場合は、以下の内容を日本事務所までお知らせください。最少催行人数は4名です。

①お名前 ②ご連絡先のお電話番号

③ご住所 ④ご参加人数 ⑤メールアドレス

皆様の利便性を考えると、出発地は関東方面になる予定です。国内便の接続によっては、5日中にご自宅に戻ることができない場合もありますので、ご了承ください。

ツアー日程

4月2日(木)	日本出発(関東方面 午前)
〃	マニラ着(現地時間 午後)
4月3日(金)	メトロ・スタッフ・ミーティング参加
〃	子ども訪問または現地活動に同行
4月4日(土)	道端教会学校参加
4月5日(日)午前	礼拝参加
〃	午後 マニラ出発(現地時間 午後)
〃	夜 日本着・解散(関東方面 夕方)

空き時間には、観光や自由時間を入れる予定です。

*ツアー代金は、10万円前後、参加人数によって変動します。

*お住まいの地域から出発空港までの国内移動につきましては別途手配をお願いします。

*現地の気温は35度くらいで、屋外の活動が中心になります。

*ご支援いただいている子どもさんとお会いできますよう、現地のスタッフが調整いたします。



2020年2月 今月のデボーション by ビル・ウィルソン

「神のメッセージはシンプルなもの」

「聖書の理解は十人十色」「読み手の解釈次第」と言われることがあります。あなたも聞いたことがあるでしょう。聖書のメッセージを信じない人や中途半端に信じている人がよく口にする理屈です。こんな便利な言い訳はありませんが、こういうことを言う人は、聖書をちゃんと読んだことがないと自ら言っているようなものです。

しかし実際、聖書を説明するにはどうしたらよいでしょうか。聖書が何を伝えようとしているか表現できますか。何といっても聖書は非常に広範です。それについて私は以前、聖書の神髄を実にシンプルに絶妙に言い表した説明に出会いました。ブルース・ラーソンという人が、聖書全体をたった6語で表現したのです。

ブルース・ラーソンは驚くべき伝道者です。優しく、親切で、信心深く、何十冊という本を著し、数十年に及ぶ牧師生活で多くの人々を導いた神の器です。また、世界的に大きな影響力を持つ何人もの説教者の良き師でもあります。

ブルース・ラーソンは「解釈次第」とされる余地を残すことなく、はっきり物を言う人でした。それは聖書解釈においても同様です。最も素晴らしいのは、彼の説明が非常に簡潔であるという点です。福音を通して神が私たちに何を語っておられるか。その説明としての6語とは次のようなものでした。

「I love you. Don't be stupid. (私はあなたを愛している。愚かであってはならない。)」

私に言わせれば、この短い言葉こそ聖書全体の説明です。もちろん、毎日聖書を読むのをやめていいと言っているわけではありません。むしろ、もしあなたが毎日聖書を

読んでいないなら読むべきです！その習慣によって私たちは愚かにならずに済むのですから。

聖書の大部分がこの6語に要約できるということであって、この言葉さえ受け入れればいいということではありません。「I love you. Don't be stupid. (私はあなたを愛している。愚かであってはならない。)」という言葉から、神のあなたへの思いと、神があなたにどうあつて欲しいかを知ることができるということです。もし私たち全員がこの6語だけを大事にしていたらこの世はどうなるでしょうか。

みことばは、生きた、普遍的なメッセージです。神独自のインターネットのような情報網です。今、あなたが受け止めているその力の大きさを忘れないでください。聖書の神髄を追求し、常に覚えておくことです。「I love you. Don't be stupid. (私はあなたを愛している。愚かであってはならない。)」

あなたがたの従順は

すべての人に知られているので、

私はあなたがたのことを喜んでいます。

しかし、私は、あなたがたが善にはさとく、

悪にはうとくあってほしい、と望んでいます。

—ローマ人への手紙第16章19節—

心をこめて

創始者・主任牧師 ビル・ウィルソン



WEB 限定公開！



デボーション

ホームページ限定のデボーション配信！

メトロ チャイルド

今月のデボーションをレポートで1回とホームページで、月2回配信します。ホームページ限定記事の配信日は、毎月20日頃の予定です。

携帯電話から見る場合



①TOP 画面の左上にある ≡ マークをタップする



②「デボーション」をタップする

パソコンから見る場合



TOP 画面の上部にある「デボーション」をクリックする

ケニア視察ツアーのご感想

12月号から続く高嶋様からのご感想、いよいよ最終回です。

スポンサーチャイルド

ケニアの子ども達に支援をされている方もたくさんいらっしゃると思います。数百名いるため、全員に会うことはできませんでしたが、数名のお子さんに会うことができました。メトロ・ケニアは他の国のメトロとは異なり、登録をしている小学校の管理内で支援制度が行われています。



今回は、支援を受けているお子さんが、プレゼントを贈ってくださったスポンサー宛にサンキューカードを書く場に立ち会うことができました。小学校の休み時間に支援を受けているお子さんは事務室に呼ばれます。それぞれスポンサーの名前を何度も一緒に読んだり、メトロ・ケニアのスタッフにスワヒリ語から英語へと翻訳してもらい、さらにそれを書いていき、保存登録のための手続きをするという、たった一枚の紙に、これだけの手間暇がかかっていることを見て、改めて現地スタッフに感謝しました。



私たちがいるので緊張しているのか、みんな黙々と書いていましたが、最後には、はにかんで「アサンテ(ありがとう)！」と言ってくれま



した。私たちの手に届くカードは、子どもたちだけでなく、メトロのスタッフや小学校の担当者が心を込めて一枚一枚作業してくれていたことを知ることができ、とても嬉しかったです。個人的には「カードを子どもたちに書いてもらうために、こんなに時間やお金もかけているから、もうカードはいいよ」と言いたくなりましたが、子どもたちと私たちスポンサーの絆を大切にしてくれているスタッフの笑顔を見ると、何も言うことはできませんでした。このツアーを終えて、帰国した私に里子たちから手紙が届きました。自分が目の前で見た子ではありませんが、多くの手を要してやっと届いた一枚のカードがとても愛おしかったです。神様とスタッフに心から感謝します。

「善を行うことと、分かち合うことを忘れてはいけません。そのようないけにえを、神は喜ばれるのです。(ヘブル13:16)」

ゴミ捨て場

私たちはゴミ捨て場に住んでいる人々も訪ねました。着ている服は汚れでところどころ黒くなり、今まで出会ったケニアの人々



の中で最も貧しい身なりをしていました。スタッフの間には、今までとは違った空気が流れていて、それは明らかに、これから信頼関係を築こうとしている段階であることを感じさせました。初めは笑いもしなかった硬い表情のみなさ



んでしたが、差し入れや挨拶、最後に万代牧師のメッセージを聞き、みんなでお祈りをした後は表情が優しくなっていた

ことに気がつきました。メトロ・ケニアはこのような場所にも少しずつ働きを広げています。

また、そのゴミ捨て場には、小学校がありました。ブリキのようなトタンのような材料でできた小さな小屋です。ある女性が子どもたちのために作った手作りの学校です。床は土のままで周囲はゴミの悪臭。でも、中には手作りの机と椅子、そしてちょっとした庭がありました。私はこの学校が、そしてこれを作ろうと踏み出した方が大好きになりました。この学校で、子どもたちに聞いてみました。「学校は好き?」「うん、もちろんだよ」子ども達が口をそろえて言いました。「どうして?」と私が聞くと「先生が好きだから」…なんて素敵な学校だろうと思いました。



私はイエス様が家畜小屋で生まれた場面が頭をよぎって、この悲惨な場所にイエス様は降りて来られ、光を当ててください、その輝きは子どもたちに反映されていることを誰も否定できないし、誰も消せないということがよくわかりました。暗闇は光に勝てないということを、私は最も貧しい学校で、最も小さな子どもたちから学んできました。

帰国した私が今思っていることは、あのケニアのゴミ捨て場で見えた光を、この日本でも見たいということです。いろいろな言い訳を並べ立て、自ら首を絞める癖があることを神様から指摘されました。あのアフリカの大地で神様が私に見せてくださった数々の御業を思い出すたび、恐れは遠のき、平安のうちに一歩ずつ前進できると確信しています。

お世話になったスタッフのみなさま、お祈りくださったみなさま、本当にありがとうございました。

「光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。
(ヨハネ1:5)」



METRO Philippine インターンシップを終えて

メトロ・フィリピンのインターンシップ(研修制度)に4ヶ月参加された永野智大様からのご感想をお届けします。

まず、私はMETROの働きについて、インターンシップに行く1ヶ月前まで知りませんでした。ビル先生が日本でセミナーをするという事で、そもそもビル先生が誰なのかも分からない状態でセミナーへ参加しました。

その中で、「自分もこの働きに貢献したい。もっと子供達にイエス様を届けたい」そう思い、その場で「神様、あなたの計画なら示してください」と祈った時、ビル先生がMETROのTシャツを投げて自分が受け取り、これは「GO!!」と神様が言っているという事で、自分はインターンシップへの参加を決めました。

そこから神様が全てを1ヶ月の間に備えてくださり、フィリピンへ行きました。インターンシップでは、このMETROの働きの『重要性』を知りました。毎週子供達のところに行くと、みんなが笑顔で本当に日曜学校を楽しみにしている事が分かります。子供達がイエス様に向かって祈り、賛美している姿に毎回心を打たれました。

そして、毎週のように全世界からフィリピンを訪れる子供のスポンサーをしている方、そして、私自身もフィリピンに行く前に神様から示され、スポンサーをした子どもとに会いに行くことができました。

このインターンシップを通して、日本でも同じように、子供達にイエス様を伝え、次の世代へ託すことを神様が教えてくれました。

2月4日より、インターンシップが始まりました。今回も日本から2名の方が参加しています。研修生の働きのために、ぜひお祈りください。



予告



メトロレポート3月号では、フィリピン学用品支援&就学支援のキャンペーンをお知らせいたします。

フィリピンでは、貧しさのために初等教育中退を余儀なくされる子どもたちが多くいます。子どもたちに学ぶチャンスと未来への可能性を提供するため、ぜひご支援をよろしくお願いします。



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！ 今年のツアー日程決定！

今年のメトロ視察ツアーの日程が決定いたしました。各ツアーの日程は、以下の通りです。

フィリピン 4月2日(木)～5日(日)

ケニア 9月9日(水)～16日(水)

アメリカ 11月19日(木)～24日(火)

先月号のメトロレポート「2020 年年間スケジュール」の記事でお知らせしたツアー開催月から変更になっているツアーがありますので、ご注意ください。

毎回、ツアー参加者の皆さんから「行ってよかった」というご感想をいただいております。ぜひ、今からご予約をご確認ください。

日本セミナー 開催希望者募集中！

ビル・ウィルソン師が6月27日から7月6日の日程で来日予定です。

前回のレポート発行後、日本各地から様々な会場のご推薦をいただいておりますことを感謝申し上げます。教会、その他の会場での開催をご希望の場合は、日程を調整しなくてはなりませんので、ご推薦の会場がありましたら、できるだけ早くご連絡ください。

ビル・ウィルソンセミナー2020によって、子どもたちと新しいスポンサーの方が出会う素晴らしい機会となるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

！ メールが届かない？

「日本事務所からの返信メールが届かない」というご連絡を度々いただきます。

いただいたメールには必ずご返信しておりますので、もし日本事務所からメールが届かない場合は、お手数ですが、メトロからの返信メールが、迷惑メールフォルダに自動で振り分けられていないかをご確認ください。

迷惑メールの受信設定をなさっている場合は、以下のアドレスを受信できるように設定してくださいませよう、お願いいたします。

日本事務所メールアドレス

metrojapan@mission.or.jp

日本事務所よりごあいさつ！

皆様お元気で新しい年の歩みを進めていらっしゃると思います。

皆様から、各国のツアー参加のご要望をいただきましたので、今年のツアー日程を決定しました。お仕事や様々なご予定があり、休みを取ることが難しいとは思いますが、一般のツアーでは決して行くことのできない場所に行き、現地の活動を体験し、子どもたちに会う貴重な機会です。参加費用もできる限り安くしていますので、無理をしても参加する価値は十分あります。

また、今年のセミナーには、必ずお知り合いを連れてご参加ください。ビル先生も楽しみにしています。

皆様のご支援とお祈りに心から感謝し、お礼申し上げます。皆様の上に主の豊かな祝福を祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6 階 TFC 内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン